

なんかい

NANKAI

vol. 117

2020.2

南海寮 広報委員会

熊本県天草市本町下河内1685番地の1

TEL 0969-23-3850

FAX 0969-22-4977

Mail keiyukai@cup.ocn.ne.jp

URL <http://www.nankaiyou.or.jp/>



どんどや
南海寮名物の大樽

年頭所感

新年によせて

施設長 松浦郁太

当法人の昨年を振り返り漢字一文字で表すと「染」。1月にインフルエンザが流行し、10月にはヒトメタニューモウイルス、さらに12月には感染性胃腸炎が発生・流行するなど感染症に悩まされた1年でした。入院者も数名出る等、ご家族や関係者の皆様には大変ご心配とご迷惑をおかけしました。保健所より感染症対策について、ご指導及び研修会を開催して頂き、今後の予防・対策に大変参考になりましたし、ご指導頂いた事項等を確実に守り、予防・拡大防止に取り組んで行きたいと考えています。

があり、看取りを勧められました。今回当施設としても初めてであり、ハードルは高かったのですが、主治医・ご家族・職員を交え何度か話し合いを重ねる事で不安の払拭に努め、最終的に看取りに踏み切りました。現在、食形態も工夫し、食事介助にも十分注意しながら、月2回の訪問診療で経過を診て頂いています。

建物がりニューアルして2年が経過し、館内外共に、清掃作業員にて日々整備を行っていますが、日頃手が届かない厨房床や建物外壁清掃を大々的に実施。2年間の汚れが落ち衛生的になりましたが、定期的な清掃の必要性を感じた所です。敷地内・外の清掃、草刈りはもちろん、天草空港周辺の花壇から施設の入口までの整備を定期的に行う事で、地域の皆様より、「いつも綺麗にされてますね」とのお褒めの言葉も頂き、励みになると同時に天草空港周辺の花壇管理や整備が少しでも地域貢献につながればと思いますし、今後

年も年始に一部のコンビニやスーパー等で休業される店が話題になりました。人手不足や働き方改革が理由との事ですが、少子高齢化・人口減少社会に突入した現在、福祉を取り巻く状況も厳しさを増しており、同じ認識に立ち、業務の見直し、複数の業務をこなせる人材の育成等、改善・改革に取り組む、さらなる進化を目指して行かなければと考えています。引き続き人材確保にも努めてまいります。

も続けて行きたいと思えます。昨年入院された利用者の主治医より国は医療費抑制の考えで、療養型ベッド数減の方向は避けられないとの説明

小さな事、当たり前の事を疎かにせず、誠実な姿勢で利用者やご家族を始め、地域住民や関係者の皆様方と向き合う地道な取り組みを積み重ねられる施設。部署の垣根を超えた挑戦・連携等全員参加で課題解決に向かう風土づくり。充分な意思疎通を図り、組織の見える化を推進して働きやすい職場、信頼される施設づくりに取り組みで行きたいと考えております。

今年も晴天に恵まれ、穏やかな新年の幕開けとなりました。関係者の皆様にとって輝かしい年になります事を祈念申し上げます。今後とも関係者の皆様の御支援とご協力をお願い致します。

研修報告 リスクマネジメント研修

危険を予見・察知する
考察力と対応力

支援員 金子 恵三

皆さんは、リスクマネジメントと聞いて何を思い浮かべますか？直訳すると、リスク（好ましく無い事が発生する。危険・危機）とマネジメント（管理）となります。

危険と言うと、福祉や介護の仕事以外のサービス業・建設業・食品製造業・農業等全ての職種にも起こりうる物があるかと思えます。例えば、福祉・介護の仕事であれば「利用者さんの転倒や骨折」、「食べ物を喉に詰める」等が有りますし、建設業であれば、「高いところからの転落」、「建設現場での怪我」、サービス業であれば「お客様への対応の不備によるクレーム」、食品製造業であれば「異物混入」、「食中毒」、農業で有れば「消毒等の管理不足により、病気や育成の失敗」等上げればきりがなくも知れません。しかし、リスクの中にも予測できる物・事前に対応策を講じることで最小限の失態や回避できる物が存在します。今回の研修では、介護の現場でのマネジメントを中心に保育士さんや施設の厨房・事務、支援員として活躍しておられる方々

との6人1チームで、現場で発生した事故（転倒や利用者間のトラブル等）の事案を

何が原因で起こったのかを探る術を、講師より教わりながら意見を出し合うといった形での研修方式でした。例えば、利用者間のトラブルにしても何が原因で発生したのか、喧嘩前の利用者さんの様子はどうか、状況次第で、席やその方が過ごす場所に配慮はできなかったのか等、探っていくとトラブルに発展する前の予防策・対応策が講じられる様に「利用者さんが滑って危険だった」・「マットがめくれ^{つま}り滑り止めた使用したり、マットをシールで固定し^{つま}り、利用者さんの履いている物を変えてみる等と改善策を講じる事ができます。

その為には、日頃から利用者さんの様子や危険な場所の把握が大事になり、職員個々の気付き力・広い視野での考察力が必要となりヒヤリの事案・事故後の対応策の徹底が大事になります。子育てや車の運転でも、危険（リスク）は多数存在します。

日頃から、自身の考察力・対応力を鍛えながら利用者さんにとって最善のリスクマネジメントを行える様に努めて行きたいと思えます。

研修報告 熊本市知的障がい者施設協会福祉大会

福祉大会

〜思い支えあう新たな時代へ

支援員 櫻井 裕己

令和元年度の福祉大会は「思い支えあう新たな時代へ」をスローガンとし12月3日県立劇場にて開催されました。福祉大会とは熊本県知的障がい者施設協会のこれまでの歩みを振り返り、古き良き部分を更にみ^つめ、安全に、また安心して障がいを持つ方々が地域で暮らしていけるように、当事者、保護者、施設職員、三者が地域、社会のみなさんと一体となってその実現に向かつて協働していく為のきっかけづくりになればとの願いを込めて年に一度開催されています。

今回は利用者3名、ご家族3名、職員2名で参加しました。午前の部では4組のステージ発表があり、まずは清香園さんの利用者、職員で構成されている「清香園ダンサーズ」の発表から始まりました。踊っていらした利用者の方はとても楽しそうで



、見ている私たちにも伝わりつつい踊りたくなるような素晴らしい表情をされていたのが印象的でした。その後のダンス、歌の発表も素晴らしい皆さん真剣な眼差しで最後まで見ておられ一緒に口ずさんだり手拍子をしたりと会場で観ていた三者が一体となっていました。特に最後の「

NOSANオールスターズ」ではステージに上がり利用者の方も思い思いに体を動かし観ていた私たちは感動すら覚えました。本大会でも地域で暮らすという事を発信しておられますが、行事への参加等様々な事を通じて地域の方々、さらに社会への理解も深まり共生社会への実現に向かって協働していく事の重要性を再認識しました。

現在社会を取り巻く環境も日々変化し情報の共有、発信が必要となっています。自分自身のスキルアップの為に自己研鑽を積み、本質を忘れる事なく、仕事に取り組んでいかなければと感じました。今回大会に参加させて頂き、

利用者の皆さんの笑顔、笑いの絶えない施設づくりに私自身微力ではありますが、携わっていければと思っています。



2020. 12. 14
もちつき忘年会
2020. 01. 09
どんとや



神輿担ぎ



神輿は職員の手作りです!!!



photo



えいえいお~!!!



スタッフ紹介 vol.01

今号では、利用者さんの楽しみ、やりがい、笑顔に繋がるようにと日々奮闘している法人のスタッフをご紹介します。



生活支援員

西岡 咲貴 にしか さき

24歳（6年目）

天草市出身・天草工業高校卒

★好きなアーティスト／bucknnumber・UVERworld

★趣味／カフェ巡り

上天草市にある「おやつ家菓音」さんのアップルパイ、天草天然塩をつけて食べるガトーショコラがマイブームです。

★ハマっているもの／

雑貨集め、特に文房具が大好きです。

★仕事で大切にしていること／

とにかく笑顔を大切にしています！言葉で伝わらなくても表情や仕草で伝わる事も多いので、これからも笑顔であることを大切に、利用者さんと一緒に笑いあえる支援者であり続けたいと思います。



おやつ家菓音さんのアップルパイ



愛用の文房具



生活支援員

池田 恭輔 いけだ きょうすけ

27歳（3年目）

天草市出身・長崎国際大学 社会福祉学科卒

★趣味／ランニング・サッカー

身体を動かすことが好きで時間を見つけて運動しています。

★ハマっているもの／

ナイキのスニーカーが好きで集めています。

★好きなアーティスト／RADWINPS、ONE OK ROCK

★ひとことコメント／

入職当初は、利用者さんとのコミュニケーションに苦労し、上手くいかず不安でしたが、日々の関わりの中で少しずつ「相手の立場になり気持ちを考え、行動する」という事の大切さ、難しさを感じています。一人ひとりの方と信頼関係を築きながら日々楽しく、試行錯誤の毎日です。



通所センターだより



ドッドドッドと小気味良い音が響いたある日、センターでは畑を耕しました。音の正体は耕運機です。耕運機を動かすのは土の状態にもよりますが意外と難しく、私もやってみました。前進させるのに一苦労。しかし、慣れている利用者さんが行くと、『シャララ〜ラ♪』とあるCMの曲が流れてきそうな程にリズム良く軽快に進んでいきます。地面と平行になるように耕運機を持って動かす事がコツのようです。

これまで、ナス・レタス・そら豆・サツマイモ他…といろいろな作物を植え、調理実習につかったり、ガネ揚げを作ったりと、最近ではサツマイモスイーツ対決と、私達の胃袋を満たしてくれ、センターの活動には欠かせない物となっています。うまく育てられなかった物もあり、理由としては、そのノウハウを事前にしっかり調べていなかった事で必要な作業のタイミングを逃していた（計画性がなかった）からかなと思えました。

物事には計画が必要ですし、そこに目標があればなおさらやる気アップに繋がると思います。令和2年、畑の休憩が終わったら、新しい苗を植えますが、それまでに皆さんの希望を取り入れ、楽しい目標（収穫量、何を作るかなど）を決めどう育てて行くのか、計画しようと思えます。

浦上 寛司

南海寮の やさいなえ

野菜苗



- ★ナス(千里長、千両)
- ★ピーマン(エース)
- ★トマト(桃太郎)
- ★ミニトマト(各種)
- ★カボチャ(エビス)
- ★タカノツメ

- ★キュウリ(長華、南進)
- ★オクラ(エメラルド)
- ★シシトウ(葵)
- ★ニガウリ(あばし)
- ★スイカ(大玉、小玉)

各種1本70円

お電話での注文随時受け付けております！【担当：森山】

TEL 0969-23-3850/FAX 0969-22-4977

編集後記

新年おめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。昨年はラグビーW杯で日本中が盛り上がりを見せましたが、2020年の今年は東京オリンピックが開催されより一層スポーツへの関心が高まる年となりそうです。スポーツといえば1月13日に高校サッカー選手権大会の決勝で2連覇をかけた青森山田とサッカー王国復活を目指した静岡学園が対決し、観ている人を魅了する好ゲームとなり、テレビ観戦でしたが私自身多くの感動を貰いました。ラグビーW杯もそうでしたが、やっぱりスポーツには特別な力がありますね。今年の東京オリンピックでもたくさんのメダル獲得と感動を期待したいと思います。

松浦 徳彦

新任職員紹介(生活支援員)



中嶋 美桜
※通所センター勤務



松本 蛍太

職員研修会等参加報告

- | | |
|-------------------------|--------|
| ■ビジネスマナー研修(11月) | 松本安 |
| ■リスクマネジメント研修(11月) | 金子恵 |
| ■福祉施設ボランティア活動推進研修会(11月) | 松浦徳 |
| ■手を繋ぐ育成会全国大会熊本大会(11月) | 坂本 |
| ■カウンセリング研修会(11月) | 鶴戸 |
| ■障害者虐待防止・権利擁護研修会(11月) | 藤木 |
| ■施設職員研修会(11月) | 小野、浦上 |
| ■腰痛予防対策講習会(12月) | 金子孝 |
| ■スーパーバイザー養成研修(12月) | 田中雄 |
| ■障害児(者)口腔ケア実地実習(12月) | 池田 |
| ■キャリアパス研修管理職コース(1月) | 大仁田 |
| ■強度行動障害支援者養成実践研修(1月) | 入船 |
| ■福祉職場OJT推進研修会(1月) | 坂本 |
| ■九州地区種別部会・合同研修会(1月) | 松浦徳、田中 |

今後の予定

2月 節分

2月19日 施設職員・家族合同研修会

4月 家族会総会

退所利用者／宮崎正士 様(氷川町)

令和元年12月24日逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

南海寮広報委員会

ご高覧頂き、ご意見・ご感想などありましたら keiyukai@cup.ocn.ne.jp までお寄せ下さい。
機関紙「なんかい」はホームページアドレス <http://www.nankairyuu.or.jp/> からご覧になれます。